

令和6年度シラバス (保健体育)

学番6 5新潟県立出雲崎高等学校

教科(科目)	保健体育 (体育①)	単位数	3単位	学年(コース)	1年次
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の5つの資質・能力を育みます ①精神的な自立 ②社会的な自立 ③経済的な自立 ④希望への輝き ⑤ゆたかな情操
カリキュラム・ポリシー	上記の資質・能力の育成を目的として、本校の特徴を活かし、次の6つに取り組みます ①安全・安心な空間 ②自己存在感の感受 ③学びの価値の実感 ④PDCAサイクル ⑤教育的資源有効活用 ⑥自己決定する機会

2 学習目標

- ・社会生活における健康・安全についての理解と、各単元での基礎技能の習得を身に付ける。
- ・運動や健康について、自他の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに、自己の体力を把握し、無理の無い体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3 指導の重点

- ・各単元で運動特性に応じた基礎技能を習得させ、健康・安全について考えさせる指導を目指します。
- ・運動する中で、自他の課題について考えさせ、解決に向けて他者とコミュニケーションをとることができるよう指導を目指します。
- ・生徒自身の体力の現状を把握し、生涯にわたって運動に親しむとともに基礎的な体力を向上させる指導を目指します。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する基本的な事項や、生涯にわたって運動を継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技術を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに技術を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種競技の技能の観察</li> <li>・各種競技のルール理解</li> <li>・健康、安全に配慮した行動の観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の取組 (判断、表現等) の観察</li> <li>・ワークシートの分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の取組 (関心、積極性等) の観察</li> </ul>

## 6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
前 期	体づくり運動	10	現代高等 保健体育	体ほぐし運動や体力を高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようになる。	a b c	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への参加意欲の観察</li> <li>授業中参加の状況の観察</li> <li>技能テストや記録結果</li> </ul>
	体育理論	6		スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特性を理解できるようにする。	a c	
	選択① バレーボール	25		状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できるようになる。	a b c	
	選択① サッカー			状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できるようになる。		
	選択① 陸上競技			記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、「短距離走」の技能を高め、中間走へのつなぎを滑らかにするなどして速く走れるようになる。		
	陸上競技	14		記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、「長距離走」の技能を高め、自己に適したペースを維持して走れるようになる。		
	選択② 柔道	25	現代高等 保健体育	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防を展開できるようになる。	a b c	
	選択② ソフトボール			状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻撃を展開できるようになる。		
	選択② テニス			状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できるようになる。		
	選択③ 卓球	25		状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できるようになる。		
	選択③ バドミントン			状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できるようになる。		
	選択③ バスケットボール			状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できるようになる。		

計 105 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・持久走はすべての生徒が同じ回数を走ります。欠席や見学した場合、後日補習をおこないます。

## 8 担当者からの一言

体ほぐし運動や基礎体力を高めるためのいろいろな運動を行います。  
新体力テストを実施し、自己の体力の現状を理解します。  
陸上競技、球技、武道などいろいろな分野の運動の基礎技術や知識を学びます。  
自身の健康のため、しっかりした基礎体力をつけ、運動を楽しんでください。

(担当：山田 和人)

教科(科目)	保健体育 (保健①)	単位数	1単位	学年(コース)	1年次
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)				
副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館書店)				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の5つの資質・能力を育みます ①精神的な自立 ②社会的な自立 ③経済的な自立 ④希望への輝き ⑤ゆたかな情操
カリキュラム・ポリシー	上記の資質・能力の育成を目的として、本校の特徴を活かし、次の6つに取り組みます ①安全・安心な空間 ②自己存在感の感受 ③学びの価値の実感 ④PDCAサイクル ⑤教育的資源有効活用 ⑥自己決定する機会

### 2 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</li> <li>・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</li> <li>・生涯を通して自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</li> </ul>
---

### 3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の考え方、生活行動と健康、精神の健康等、保健を身近な問題としてとらえ、自分自身が健康に生活するために必要なことについて考える態度と技能を育てます。</li> <li>・各単元で運動特性に応じた基礎技能を習得させ、健康・安全について考えさせる指導を目指します。</li> </ul>
--

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考・判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

### 5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、課題テストの分析</li> <li>・ワークシート、提出物などの内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの記入状況などの分析</li> <li>・定期考査、課題テストの分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に主体的に取り組もうとする意欲、態度の観察</li> <li>・ワークシート、提出物などの内容の確認</li> </ul>

## 6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
前 期	現代社会と 健康	35	現代高等 保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、現代における健康課題とその予防及び対策について理解できるようにする</li> <li>生活習慣病、がん、精神疾患などの予防と回復などについて、様々な健康への対策、健康増進のあり方について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。</li> </ul>	a b c	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への参加意欲の観察</li> <li>授業中参加の状況観察</li> </ul>
後 期	安全な 社会生活			<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な社会の形成には、個人の安全に関する理解、環境の整備などが必要であること。また、個人が心肺蘇生を含む応急手当の技術を身につけることが必要であることを理解できるようにするとともに、技術を身に付けさせるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、プリント課題</li> <li>ノートの記入状況</li> </ul>

計35時間(50分授業)

## 7 課題・提出物等

- ① プリント課題      ② 保健ノート      ③ ワークシート

## 8 担当者からの一言

生活習慣病や薬物、感染症や心の問題など、現代のさまざまな健康問題や、新しい時代における健康のあり方などについて学びます。  
自分自身の健康を自分で意識し、健康に毎日を過ごすことを身に付けましょう

(担当：山田 和人)

教科(科目)	保健体育 (体育②)	単位数	3単位	学年(コース)	2年次
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の5つの資質・能力を育みます ①精神的な自立 ②社会的な自立 ③経済的な自立 ④希望への輝き ⑤ゆたかな情操
カリキュラム・ポリシー	上記の資質・能力の育成を目的として、本校の特徴を活かし、次の6つに取り組みます ①安全・安心な空間 ②自己存在感の感受 ③学びの価値の実感 ④PDCAサイクル ⑤教育的資源有効活用 ⑥自己決定する機会

2 学習目標

- ・社会生活における健康・安全についての理解と、各単元での基礎技能の習得を身に付ける。
- ・運動や健康について、自他の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに、自己の体力を把握し、無理の無い体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3 指導の重点

- ・各単元で運動特性に応じた基礎技能を習得させ、健康・安全について考えさせる指導を目指します。
- ・運動の中で、自他の課題について考えさせ、解決に向けて他者とコミュニケーションをとることができるよう指導を目指します。
- ・生徒自身の体力の現状を把握し、生涯にわたって運動に親しむとともに基礎的な体力を向上させる指導を目指します。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する基本的な事項や、生涯にわたって運動を継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技術を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに技術を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種競技の技能の観察</li> <li>・各種競技のルール理解</li> <li>・健康、安全に配慮した行動の観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の取組 (判断、表現等) の観察</li> <li>・ワークシートの分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の取組 (関心、積極性等) の観察</li> </ul>

## 6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
前 期	体づくり運動	10	現代高等 保健体育	体ほぐし運動や体力を高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようになる。	a b c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加意欲の観察</li> <li>・授業中参加の状況の観察</li> <li>・技能テストや記録結果</li> </ul>
	体育理論	6		合理的な動きの理解と体力の向上によって、スポーツを生業にわたって継続していくための基礎を理解できるようになる。	a c	
	選択① ソフトボール	25		状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻撃を展開できるようになる。	a b c	
	選択① テニス			状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空間を作り出すなどの攻防を展開できるようになる。		
	選択① 器械体操			「マット運動」を行う課程で、技をよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技することができるようになる。		
	陸上競技	14		記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、「長距離走」の技能を高め、自己に適したペースを維持して走れるようになる。		
	選択② サッカー	25	現代高等 保健体育	状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できるようになる。	a b c	
	選択② バレーボール			状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できるようになる。		
	選択② 陸上競技			記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、「跳躍種目」、「投擲種目」特有の技術を高めることができるようにする。		
	選択② 柔道			技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開できるようになる		
	選択③ 卓球	25		状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できるようになる。		
	選択③ バドミントン			状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できるようになる。		
	選択③ バスケットボール			状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できるようになる。		

計105時間(50分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・持久走はすべての生徒が同じ回数を走ります。欠席や見学した場合、後日補習をおこないます。

## 8 担当者からの一言

体ほぐし運動や基礎体力を高めるためのいろいろな運動を行います。  
新体力テストを実施し、自己の体力の現状を理解します。  
陸上競技、球技、武道などいろいろな分野の運動の基礎技術や知識を学びます。  
自身の健康のため、しっかりした基礎体力をつけ、運動を楽しんでください。

(担当：山田 和人)



教科(科目)	保健体育 (保健②)	単位数	1 単位	学年(コース)	2 年次
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)				
副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館書店)				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の5つの資質・能力を育みます ①精神的な自立 ②社会的な自立 ③経済的な自立 ④希望への輝き ⑤ゆたかな情操
カリキュラム・ポリシー	上記の資質・能力の育成を目的として、本校の特徴を活かし、次の6つに取り組みます ①安全・安心な空間 ②自己存在感の感受 ③学びの価値の実感 ④PDCAサイクル ⑤教育的資源有効活用 ⑥自己決定する機会

### 2 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</li> <li>・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</li> <li>・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</li> </ul>
---

### 3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の考え方、生活行動と健康、精神の健康等、保健を身近な問題としてとらえ、自分自身が健康に生活するために必要なことについて考える態度と技能を育てます。・各単元で運動特性に応じた基礎技能を習得させ、健康・安全について考えさせる指導を目指します。</li> </ul>
--

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考・判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

### 5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、課題テストの分析</li> <li>・ワークシート、提出物などの内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの記入状況などの分析</li> <li>・定期考査、課題テストの分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に主体的に取り組もうとする意欲、態度の観察</li> <li>・ワークシート、提出物などの内容の確認</li> </ul>

## 6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
前 期	生涯を通じる 健康	35	現代高等 保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯にわたって健康を保持増進していくためには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理と環境づくりが重要であることを理解できるようにする。</li> </ul>	a b c	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への参加意欲の観察</li> <li>授業中参加の状況観察</li> </ul>
後 期	健康を支える 環境づくり			<ul style="list-style-type: none"> <li>健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、環境、食品、保健・医療制度、保健活動や社会的対策などについて理解できるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、プリント課題</li> <li>ノートの記入状況</li> </ul>

計35時間 (50分授業)

## 7 課題・提出物等

- ① プリント課題      ② 保健ノート      ③ ワークシート

## 8 担当者からの一言

生活習慣病や薬物、感染症や心の問題など、現代のさまざまな健康問題や、新しい時代における健康のあり方などについて学びます。

自分自身の健康を自分で意識し、健康に毎日を過ごすことを身に付けましょう

(担当：山田 和人)

## 令和6年度シラバス (保健体育)

学番65新潟県立出雲崎高等学校

教科(科目)	保健体育 (体育③)	単位数	2単位	学年(コース)	3年次
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)				
副教材等	なし				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の5つの資質・能力を育みます ①精神的な自立    ②社会的な自立    ③経済的な自立 ④希望への輝き    ⑤ゆたかな情操
カリキュラム・ポリシー	上記の資質・能力の育成を目的として、本校の特徴を活かし、次の6つに取り組みます ①安全・安心な空間    ②自己存在感の感受    ③学びの価値の実感 ④PDCAサイクル    ⑤教育的資源有効活用    ⑥自己決定する機会

### 2 学習目標

- ・運動や健康について、自他の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに、自己の体力を把握し、無理の無い体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
- ・より多くの運動量により、体力の充実を図る。
- ・各単元でルールや審判法を理解しながら、ゲームや練習を自主的に行うことができる。

### 3 指導の重点

- ・各単元で運動特性に応じた基礎技能を習得させ、健康・安全について考えさせる指導を目指します。
- ・運動する中で、自他の課題について考えさせ、解決に向けて他者とコミュニケーションをとることができるよう指導を目指します。
- ・生徒自身の体力の現状を把握し、生涯にわたって運動に親しむとともに基礎的な体力を向上させる指導を目指します。

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する基本的な事項や、生涯にわたって運動を継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技術を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに技術を身に付けている。 各競技のルールや審判法を理解している。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。また、ゲームや練習に主体的に取り組もうとしている。

### 5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種競技の技能の観察</li> <li>・各種競技のルールの理解</li> <li>・健康、安全に配慮した行動の観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の取組 (判断、表現等) の観察</li> <li>・ワークシートの分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の取組 (関心、積極性等) の観察</li> </ul>

## 6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
前 期	体づくり運動	10	現代高等 保健体育	体ほぐし運動や体力を高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようになる。	a b c	・授業への参加 意欲の観察
	体育理論	6		合理的な動きの理解と体力の向上によって、スポーツを生業にわたって継続していくための基礎を理解できるようになる。	a c	
	選択① ソフトボール	22		状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻撃を展開できるようになる。	a b c	・授業中参加の 状況の観察
	選択① テニス			状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空間を作り出すなどの攻防を展開できるようになる。		
	陸上競技	10		記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、「長距離走」の技能を高め、自己に適したペースを維持して走れるようになる。		・技能テストや 記録結果
後 期	選択② サッカー	22	現代高等 保健体育	状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できるようになる。	a b c	・技能テストや 記録結果
	選択② 卓球			状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できるようになる。		
	選択② バドミントン			状況に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できるようになる。		
	選択② バスケットボール			状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できるようになる。		

計70時間 (50分授業)

## 7 課題・提出物等

・持久走はすべての生徒が同じ回数を走ります。欠席や見学した場合、後日補習をおこないます。

## 8 担当者からの一言

体ほぐし運動や基礎体力を高めるためのいろいろな運動を行います。  
新体力テストを実施し、自己の体力の現状を理解します。  
陸上競技、球技、武道などいろいろな分野の運動の基礎技術や知識を学びます。  
自身の健康のため、しっかりした基礎体力をつけ、運動を楽しんでください。

(担当：山田 和人)